

平成30年10月26日(金) 2校時 上運動場 指導者 石原 裕士

児童支援者 下畠 侑也

1 単元名 どちらがはやいでしょう (ゲーム: ベースボール型ゲーム)

2 単元の目標

キックベースボールの行い方を知り、進んでゲームに取り組むことができる。また、基本的なボール操作と、得点をとったり防いだりする動きによって易しいゲームをする中で、規則を工夫したり簡単な作戦を選んだり考えたことを友達に伝えたりしながら課題を解決することができる。

3 単元の構想

【児童の実態】

本学級は、男子16名、女子21名、計37名で、体育科の授業を楽しみにしている児童が多い。休み時間にはボールを捕ったり投げたりして遊んでいる姿が多く見られる。

4年生の「体づくり運動」や「水泳運動」の学習では、友達とペアになってアドバイスし合う姿が見られた。しかし、グループで動きを考えたり、工夫したりする活動は十分できていない。運動に対しての興味はあるが、技能面で個人差がある。

昨年度のゲーム領域の学習では、「どうすれば失点を少なくして、より多くの得点をするができるかどうか」という挑戦課題に迫る学習をしてきている。ゲームの行い方を知って楽しむ姿が見られたが、攻防の仕方を考えたり、話し合ったりすることが難しい児童もいた。運動のおもしろさを捉え直し、十分に味わえるような授業づくりを行い、児童が主体的にチームにかかわり、チーム全員で協力して課題解決していく学習を進めていきたい。

【運動のおもしろさの捉え方】

キックベースボールは、「ボール(ランナー)よりはやくベースに着くことができるかどうか」という出来事をめぐる攻防がおもしろさであると考え。本単元では、「ボールをどこに蹴るか」、「飛んできたボールをどこに運ぶか」をチームで工夫していくおもしろさを味わわせたい。



「課題に迫るために、めあてをもち、夢中になって学び続ける子どもの育成」を目指して

挑戦課題: ボール(ランナー)よりはやくベースに着くことができるかどうか

【問いと学びの姿】

問い より先のベースに進むにはどうすればいいかな?

→ 「蹴り方(方向・強弱)」や「位置」を手がかりにして、どうすればより先のベースに進むことができるかについて工夫している姿。

→ 「蹴り方(方向・強弱)」や「位置」を手がかりにして、どうすればチームで、より先のベースにランナーを進めることができるかについて工夫している姿。

問い 先のベースに進ませないためにはどうすればいいかな?

→ チームで協力して、ランナーを先のベースに進ませないために、どうすればいいかを工夫している姿。

【単元構成の工夫】

ボール(ランナー)よりはやくベースに着くことができるかどうかの攻防を楽しむことができるよう、簡単な規則でゲームを行うようにする。ベースボール型ゲームは攻守がはっきりと分かれているので、単元を通して攻撃と守備にかかわる「問い」を出していく。単元の後半では、「ランナーがベースに残る」という規則を加えることで、得点を取ったり、ランナーをアウトにしたりするチャンスが増えるようにする。さらに、子どもたちが場や規則を工夫することで、より攻防のおもしろさを広げていく。単元の最後に行う他のクラスとの交流戦での勝利を目指すことで、単元の最後まで意欲をもってキックベースボールに取り組むことができるようにする。初めて対戦するチームに対して、学習して高めてきた技能や積み重ねてきた知識を活用して攻防することを楽しむことができるようにしたい。

4 運動のおもしろさを広げるための支援の工夫

○ 「仲間」とのかかわりから

- ・ ゲームを通して、場や規則について考えたことを振り返りの時間に共有するようにすることで、よりみんなが楽しめるように場や規則を工夫できるようにする。
- ・ 励ましたり、応援したりするような言葉掛けを称揚することで、安心してプレーできるようにし、チームの一体感が高まるようにする。
- ・ チームのめあてをもとに、個人のめあてを共有しておく時間を設定することで、上手くいったことや仲間のよさに目を向けやすくする。

○ 「もの」とのかかわりから

- ・ ベースをバケツ形にし、お手玉を入れるかボールでふさぐかどちらがはやいかを競うようにすることで、セーフかアウトかの判定を分かりやすくする。
- ・ 反発性の低いボールを使うことで、ボールに対する恐怖心を取り除き、意欲的にゲームに取り組めるようにする。

○ 「自己」とのかかわりから

- ・ ボールを蹴ったり、投げたり、捕ったりするなどの練習の仕方をカードで示すことで、チームで練習を選べるようにする。
- ・ コートを描いたホワイトボードを用意しておくことで、ランナーや相手チームの守備位置をもとにして作戦を選びやすくする。

5 評価規準

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
目標	キックベースボールの行い方を知り、蹴ったり捕ったり投げたりするなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすることができる。	規則を工夫したり作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動に積極的に取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。
評価規準	ア 攻めたり守ったりする行い方を知ることができる。 イ ボールを蹴ったり、投げたり、向かってくるボールの正面に移動してボールを捕ったりする動きを使って易しいゲームをすることができる。 ウ ボールの飛球方向に移動したり、全力で走塁したりするなどのボールを持たないときの動きを使って易しいゲームをすることができる。	カ みんながゲームを楽しめるような規則を工夫している。 キ 追究のための手がかりをもとに、簡単な作戦を選んでいる。 ク 考えたことを、友達に伝えている。	サ 規則を守って、友達と仲よく励まし合って練習やゲームをしようとしている。 シ 友達の動きのよさを見つけたり、友達の考えを認めたりしようとしている。